

# 2005年6月期 第1四半期決算説明会

2004年11月12日

株式会社インターネット総合研究所

(注) 当資料は、当社の2005年6月期第1四半期決算報告を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。この資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。また、本資料には2005年6月期の予想にかかわる記載がありますが、これはあくまでも当社の予想であり、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますのでご了承ください。

# 目 次

**1 . 2005年6月期第1四半期決算の概要**

**2 . グループ各社の実績・計画**

**3 . IRIグループの経営戦略**

# 1. 2005年6月期第1四半期決算の概要

# 1-1 . 2005年6月期第1四半期決算サマリー

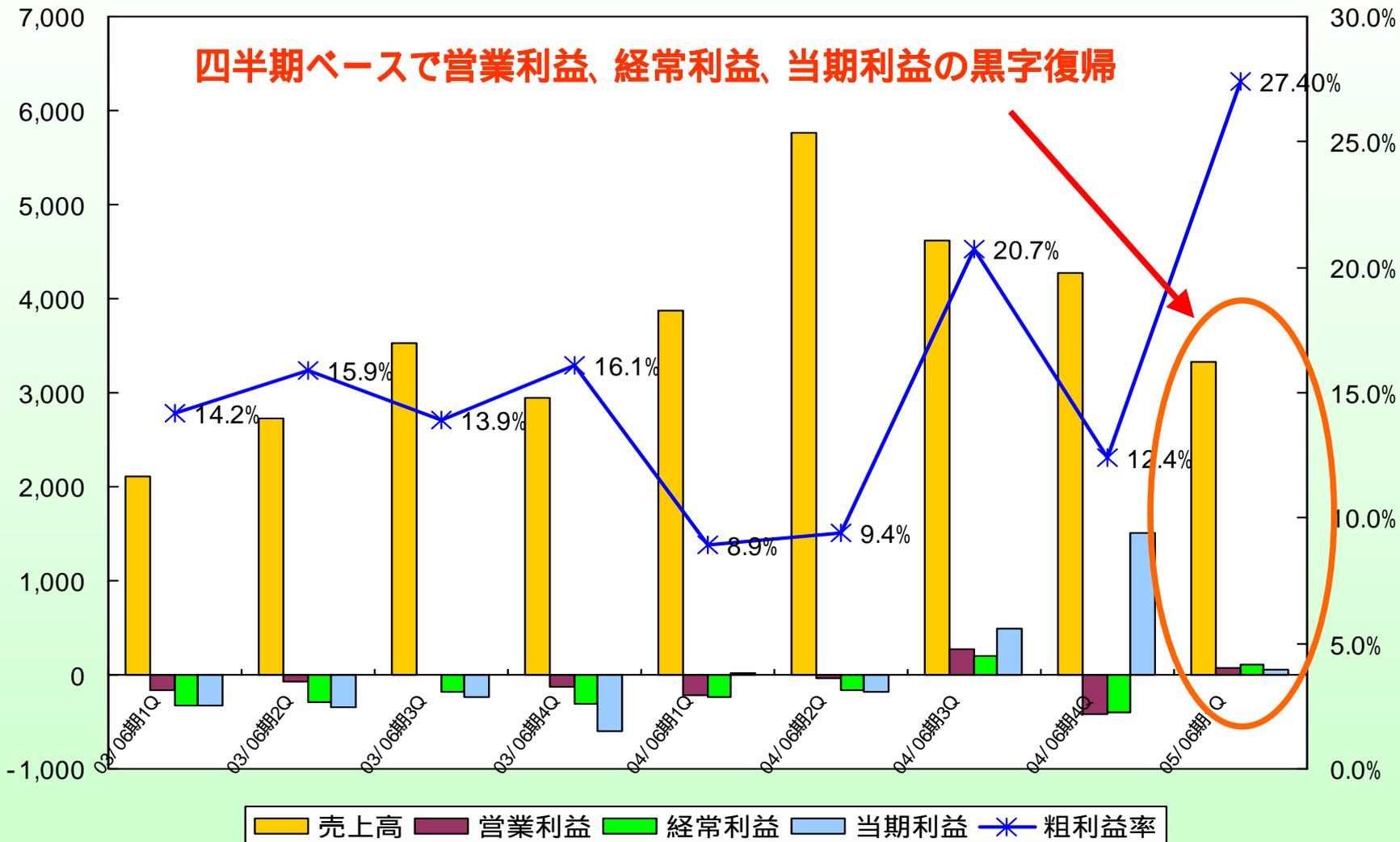
(単位:百万円)

		2005年6月期 第1四半期実績	2004年6月期 第1四半期実績	2005年6月期 通期予想	達成率	前年同期比
連 結	売上高	3,334	3,871	21,000	15.9%	16.1%
	営業利益	66	221	800	8.3%	---
	経常利益	106	232	700	15.1%	---
	当期利益	48	10	400	12.0%	---

		2005年6月期 第1四半期実績	2004年6月期 第1四半期実績	2005年6月期 通期予想	達成率	前年同期比
単 体	売上高	72	1,397	780	9.2%	94.8%
	営業利益	158	125	390	---	---
	経常利益	110	136	390	---	---
	当期利益	72	137	390	---	---

# 1-2. 四半期業績推移

(単位:百万円)

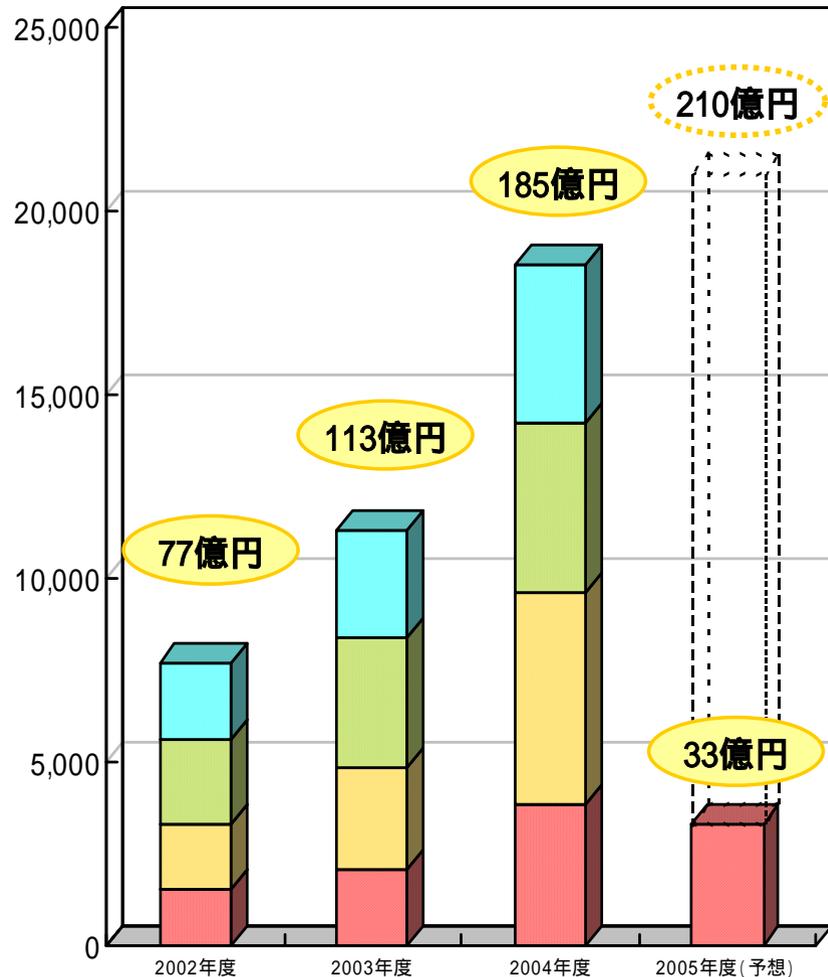


# 1-3. 通期業績推移の四半期内訳

■ 第1四半期 
 ■ 第2四半期 
 ■ 第3四半期 
 ■ 第4四半期

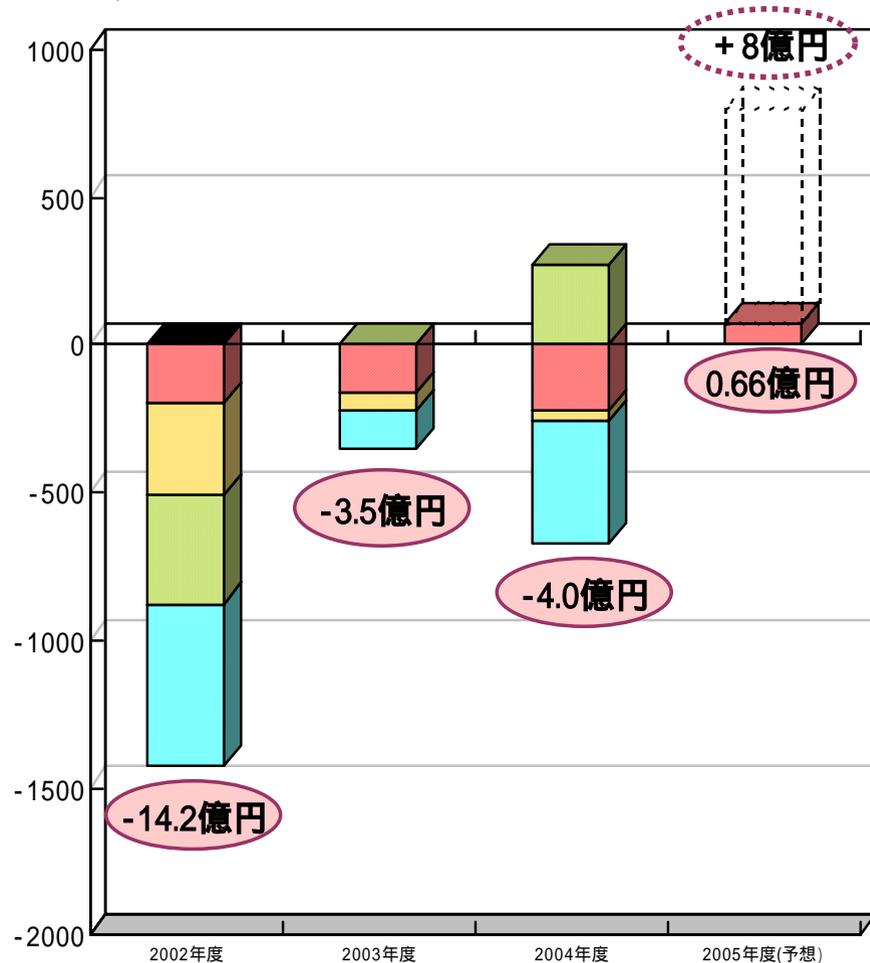
< 四半期別売上高推移 >

(単位:百万円)



< 四半期別営業利益推移 >

(単位:百万円)



# 1-4. 連結PL概要

(単位: 百万円)

	2004/6月期					2005/6月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>3,871</b>	<b>5,761</b>	<b>4,614</b>	<b>4,279</b>	<b>18,525</b>	<b>3,334</b>	<b>86%</b>
[IPネットワーク事業]	2,253	4,015	2,711	2,869	11,848	2,079	92%
[内訳] IRI単体	1,360	2,992	1,549	1,235	7,136	7	1%
BBTower	616	691	753	947	3,006	964	156%
BBX	149	203	208	411	971	214	144%
IRI-Com	115	118	100	442	774	765	665%
IRI-CT	103	111	125	141	480	129	125%
シアス・アール	---	13	---	---	13	---	---
[IPプラットフォーム事業]	1,615	1,744	1,901	1,466	6,726	1,252	78%
[内訳] IRI単体	37	57	104	51	247	62	168%
IRIユビテック	1,577	1,689	1,819	1,414	6,499	1,190	75%
[その他事業]	2	2	2	2	9	2	100%
[内訳] IRI-USA,Incなど	2	2	2	2	9	2	100%
<b>売上総利益</b>	<b>346</b>	<b>544</b>	<b>958</b>	<b>534</b>	<b>2,382</b>	<b>913</b>	<b>264%</b>
販管費	568	581	685	947	2,781	847	149%
内、連結調整勘定償却	0	0	31	62	93	44	---
<b>営業利益</b>	<b>221</b>	<b>36</b>	<b>273</b>	<b>414</b>	<b>398</b>	<b>66</b>	<b>-30%</b>
持分法による投資損益	4	6	6	12	28	4	100%
<b>経常利益</b>	<b>232</b>	<b>165</b>	<b>196</b>	<b>399</b>	<b>600</b>	<b>106</b>	<b>-46%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>10</b>	<b>187</b>	<b>482</b>	<b>1,507</b>	<b>1,812</b>	<b>48</b>	<b>480%</b>

- ・売上高: 採算性の低い案件の抑制の結果、前年同期比で減収となったが、各グループ会社の売上成長は計画線上で推移
- ・売上総利益: グループ各社の収益性の改善が進み売上総利益額・利益率共に大幅に改善
- ・営業利益: グループ各社の増益効果が、持株会社の機能となった単体の赤字を吸収し、連結での黒字化を達成。
- ・経常利益: 営業利益との差額は営業外業務の収入増及び逆暖簾の償却等
- ・当期純利益: 経常利益との差額は少数株主損益等

# 1-5. 連結BS概要

(単位:百万円)	2004/6月期				2005/6月期	
	第1四半期	中間期	第3四半期	決算期	第1四半期	前期末比
<b>流動資産</b>	<b>6,933</b>	<b>12,229</b>	<b>10,820</b>	<b>10,375</b>	<b>8,699</b>	<b>-16.2%</b>
うち 現金及び預金	2,256	5,004	4,047	3,988	3,939	-1.2%
うち 受取手形及び売掛金	3,513	6,227	5,654	5,555	4,010	-27.8%
<b>固定資産</b>	<b>4,287</b>	<b>4,342</b>	<b>5,981</b>	<b>6,623</b>	<b>7,056</b>	<b>6.5%</b>
うち 有形固定資産	2,250	2,243	2,295	2,311	2,404	4.0%
うち 無形固定資産	50	194	2,000	1,787	1,663	-6.9%
うち 投資その他資産	1,986	1,904	1,685	2,524	2,988	18.4%
<b>資産合計</b>	<b>11,220</b>	<b>16,572</b>	<b>16,802</b>	<b>16,999</b>	<b>15,756</b>	<b>-7.3%</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,773</b>	<b>7,785</b>	<b>6,943</b>	<b>5,541</b>	<b>4,141</b>	<b>-25.3%</b>
うち 支払手形及び買掛金	2,801	5,676	5,027	4,226	2,803	-33.7%
うち 短期借入金	990	1,040	600	100	100	0.0%
<b>固定負債</b>	<b>749</b>	<b>633</b>	<b>565</b>	<b>607</b>	<b>523</b>	<b>-13.8%</b>
うち 退職給付引当金	94	97	97	103	104	1.0%
うち 長期未払金	626	534	444	255	175	-31.4%
<b>負債合計</b>	<b>5,523</b>	<b>8,419</b>	<b>7,509</b>	<b>6,148</b>	<b>4,664</b>	<b>-24.1%</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>1,104</b>	<b>924</b>	<b>993</b>	<b>1,003</b>	<b>1,178</b>	<b>17.4%</b>
<b>資本金</b>	<b>2,226</b>	<b>3,640</b>	<b>3,843</b>	<b>3,855</b>	<b>3,866</b>	<b>0.3%</b>
<b>資本合計</b>	<b>4,592</b>	<b>7,229</b>	<b>8,298</b>	<b>9,847</b>	<b>9,913</b>	<b>0.7%</b>
<b>負債・少数株主持分および資本合計</b>	<b>11,220</b>	<b>16,572</b>	<b>16,802</b>	<b>16,999</b>	<b>15,756</b>	<b>-7.3%</b>

- ・流動資産の減少: 売上減少及び前期発生の上代金の回収に伴う売掛金の減少、在庫削減努力による棚卸資産の減少。
- ・固定資産の増加: 平成電電への出資による投資その他資産の増加。
- ・流動負債の減少: 仕入減少に伴う買掛金の減少。
- ・固定負債の減少: 割賦返済による長期未払金の減少。

## IRI-CTが第三者割当増資実施、IRIが全株式引き受け

- ・グループ内における情報提供サービス事業として専門ポータル事業を強化
- ・発行総額:1億6,000万円、増資後の資本金:2億9,000万円、増資後のIRIの持株比率:62.1%、払込日:9月9日

## 会社分割によるユビキタス研究所のIRIユビテックへの事業承継

- ・次世代ユビキタス研究の研究・開発をIRIユビテックに集約、IPプラットフォーム事業の事業強化を図る
- ・分割日:2004年10月1日

## IRIユビテックの株式を松下電工に譲渡

- ・IRIユビテックおよび松下電工の両社の成長戦略のシナジーを期待
- ・譲渡先:松下電工(株)、譲渡日:9月29日、譲渡金額:5,000万円、譲渡後の持株比率:IRI:94.4%、松下電工:1.2%

## ファイバーテックと株式交換による100%子会社化

- ・株式交換(簡易株式交換)により、ファイバーテック株式会社(事業内容:医療用内視鏡製造販売、医療用ソフトウェアの開発等)を子会社化
- ・株式交換日:10月1日、株式交換比率:1(IRI):0.492(ファイバーテック)

## IRI-Comの株式をドリームテクノロジーズに譲渡

- ・IRI-Comとドリームテクノロジーズ社の資本提携による関係強化を図る
- ・譲渡先:ドリームテクノロジーズ(株)、譲渡日:10月4日、譲渡金額:6億6,743万円

## IRI-Comが第三者割当増資実施、IRIが全株式引受

- ・IRI-Comの財務基盤の強化を図り、サービス拠点や営業拠点の拡大等事業展開に必要な資金を提供
- ・発行総額:3億8,754万円、増資後の資本金:6億9,300万円、増資後のIRIの持株比率:70.6%、ドリームテクノロジーズ:20.0%、払込日:10月19日

## 2. グループ各社の実績・計画

## 2-1. 連結グループ会社別業績(売上高・営業利益)

単位:百万円

	売上高						営業利益					
	2004年6月期		2005年6月期				2004年6月期		2005年6月期			
	1Q	通期	1Q	対前年 増減	通期計画	進捗率	1Q	通期	1Q	対前年 増減	通期計画	進捗率
IRI単体	1,397	7,384	72	-1,325	780	9%	-125	-478	-158	-33	-390	41%
IRIユビテック	1,577	6,499	1,235	-342	6,500	19%	99	429	114	+15	500	23%
BBTower	616	3,006	987	+371	4,400	22%	4	294	177	+173	383	46%
BBX( 1)	149	971	218	+69	8,200	12%	-153	-458	-39	+114	500	-8%
IRI-Com( 1)	115	774	776	+661			-27	-151	7	+34		
IRI-CT	103	480	134	+31	660	20%	1	12	10	+9	50	20%
その他( 2)	2	22	2	+0	460	0%	0	-22	0	+0	28	0%
合計【単純合算】	3,959	19,136	3,427	-532	21,000	16%	-200	-374	110	+310	1,071	10%
連結修正仕訳	-88	-616	-92	-4			-21	-23	-43	-22	-271	16%
合計【連結修正】	3,871	18,525	3,334	-537	21,000	16%	-221	-398	66	+287	800	8%

( 1)10月1日よりBBXとIRI-Comは合併

( 2)その他は、IRI-USA、05/06期下期よりファイバーテックが連結算入

## 2-2. 連結グループ会社別業績(経常・当期利益)

単位:百万円

	経常利益						当期利益					
	2004年6月期		2005年6月期				2004年6月期		2005年6月期			
	1Q	通期	1Q	対前年 増減	通期計画	進捗率	1Q	通期	1Q	対前年 増減	通期計画	進捗率
IRI単体	-136	-636	-110	+26	-390	28%	-137	39	-72	+65	-390	18%
IRIユビテック	99	426	123	+24	500	25%	54	299	58	+4	300	19%
BBTower	-5	251	171	+176	338	51%	-10	303	176	+186	328	54%
BBX( 1)	-149	-446	-38	+111			-157	-455	-38	+119		
IRI-Com( 1)	-26	-154	16	+42	500	-8%	-16	-185	16	+32	450	-8%
IRI-CT	1	11	10	+9	49	20%	1	10	10	+9	49	20%
その他( 2)	0	-23	0	+0	27	0%	0	-23	0	+0	27	0%
合計【単純合算】	-216	-571	172	+388	1,024	1%	-265	-12	150	+415	764	1%
連結修正仕訳	-16	-30	-66	-50	-324		275	1,824	-102	-377	-364	
合計【連結修正】	-232	-600	106	+338	700	15%	10	1,812	48	+38	400	12%

( 1)10月1日よりBBXとIRI-Comは合併

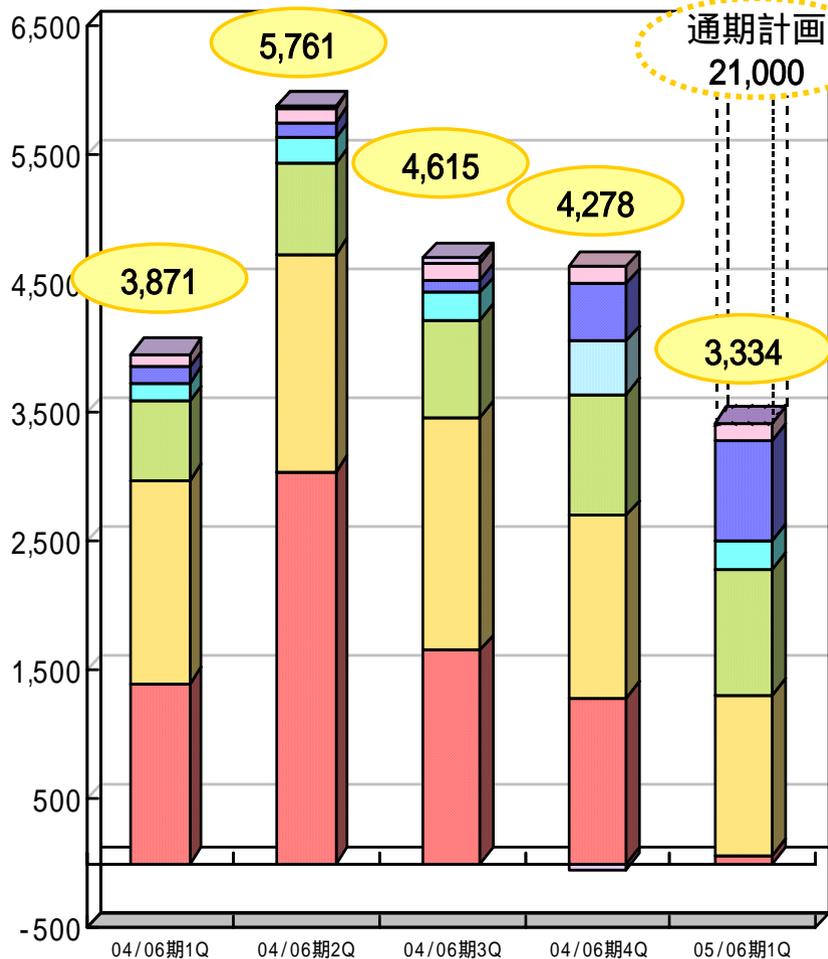
( 2)その他は、IRI-USA、05/06期下期よりファイバーテックが連結算入

# 2-3. グループ会社別四半期業績推移 (売上高・営業利益)

■ IRI本体 
 ■ IRIユビテック 
 ■ BBTower 
 ■ BBX 
 ■ IRI-Com 
 ■ IRI-CT 
 ■ その他

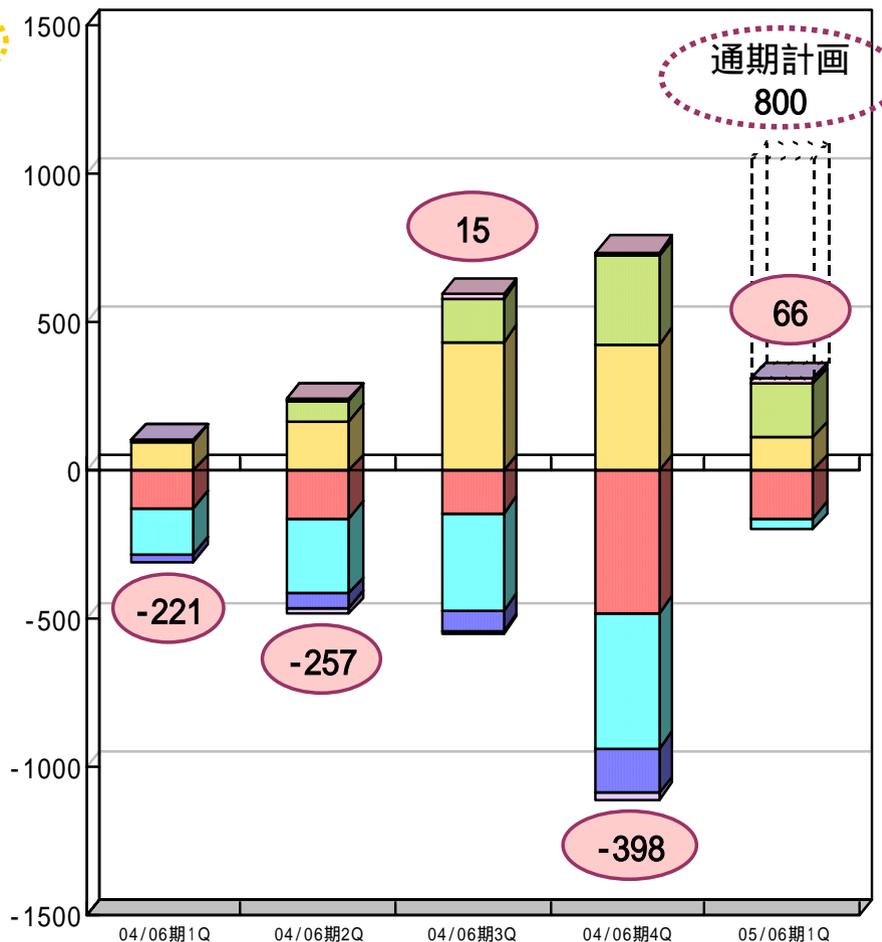
(単位: 百万円)

< 会社別売上高推移 >

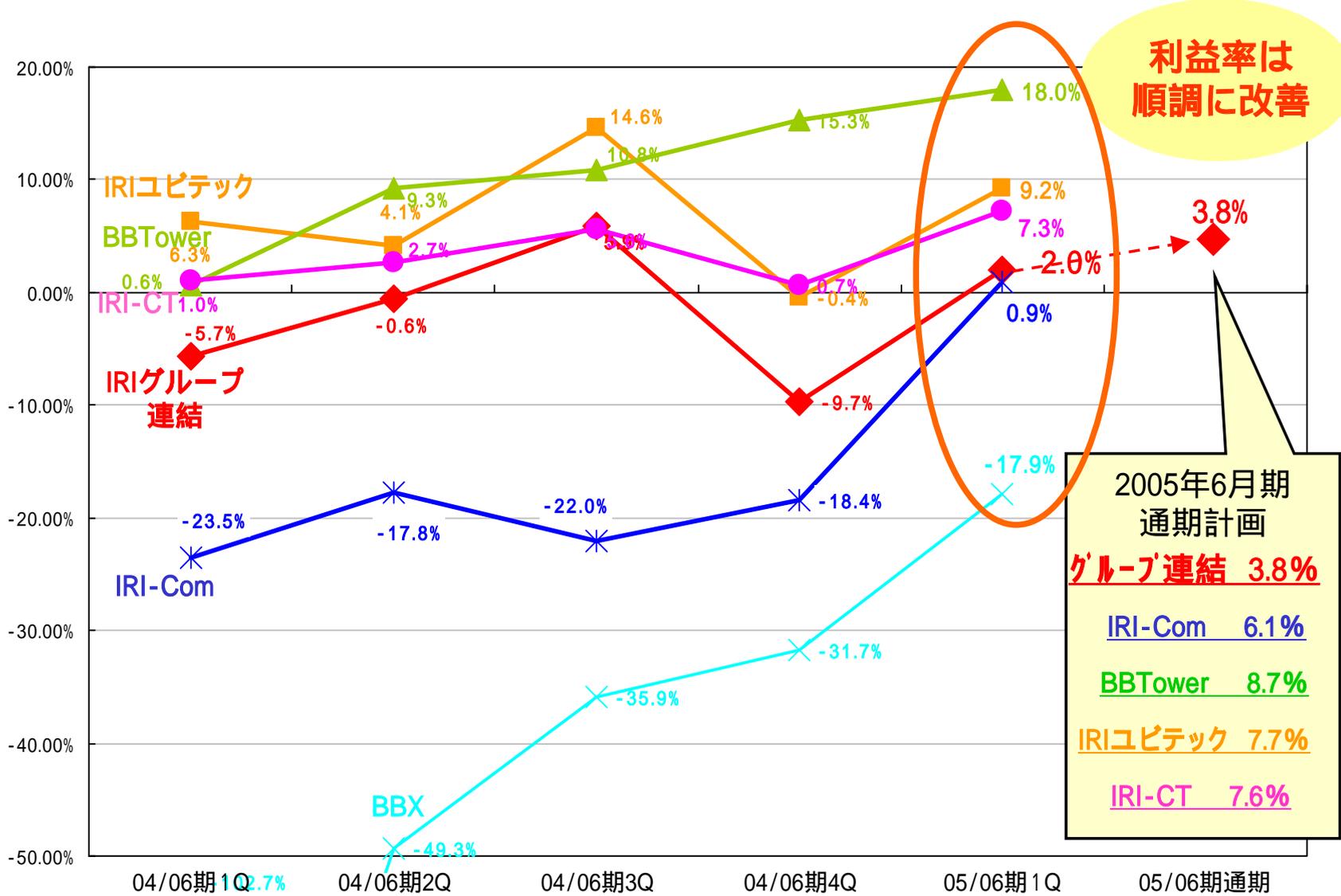


(単位: 百万円)

< 会社別営業利益推移 >



# 2-4. グループ会社別営業利益率推移



2005年6月期  
通期計画

**グループ連結 3.8%**

IRI-Com 6.1%

BBTower 8.7%

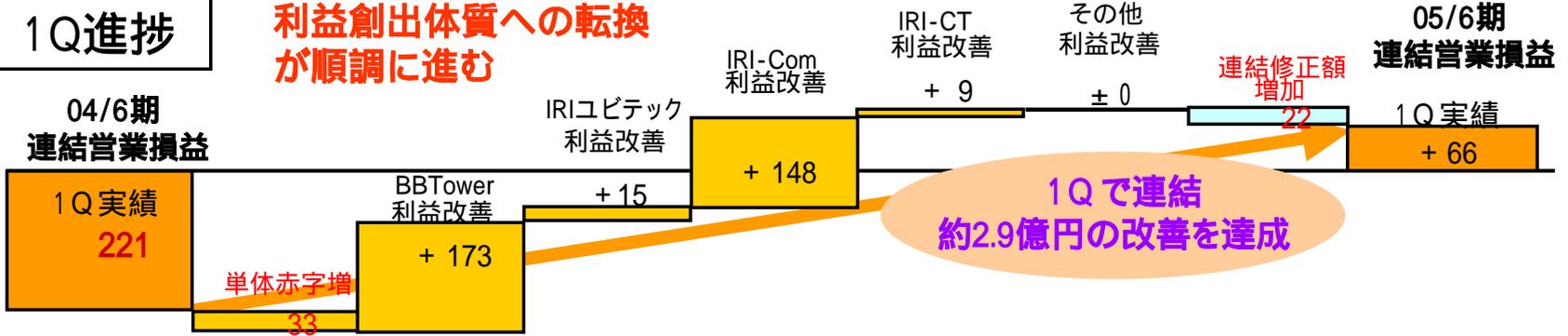
IRIユビテック 7.7%

IRI-CT 7.6%

# 2-5. 今期の利益改善計画と1Q進捗状況

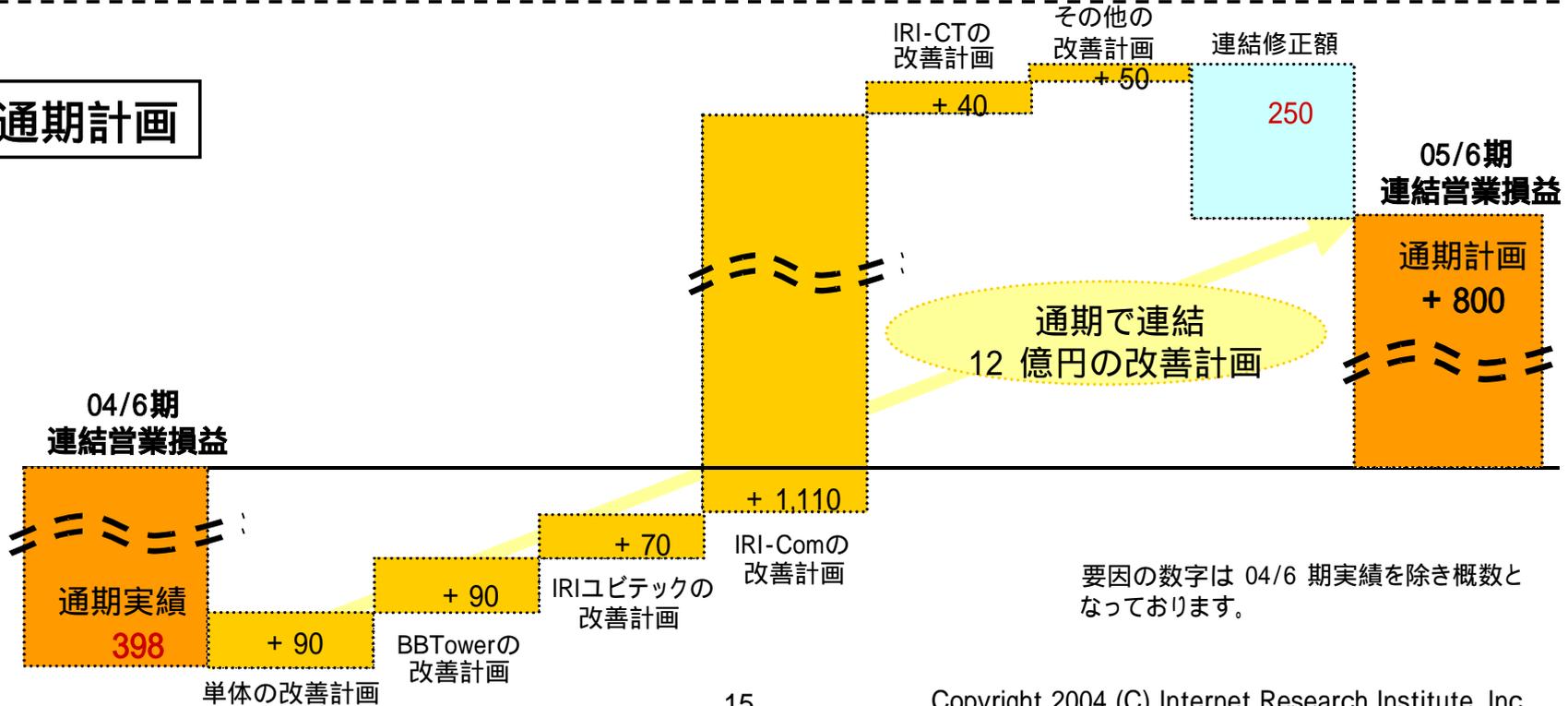
## 1Q進捗

利益創出体質への転換  
が順調に進む



1Qで連結  
約2.9億円の改善を達成

## 通期計画



通期で連結  
12億円の改善計画

要因の数字は 04/6 期実績を除き概数となっております。

2005年6月期第1Q実績 売上： 72百万円 営業利益： 125百万円

2005年6月期予測 売上： 780百万円 営業利益： 390百万円

### 会社分割によるIPネットワーク事業の IRI Comへの事業承継

IRI-Comにグループのリソースを集中。IRI-Comが従来行っていた『マネジメント・サービス・プロバイダー (MSP) 事業』に加え、新たに『アドバンス・ネットワーク・インテグレーション (AdNI) 事業』、『ヴァーチャル・アクセス・サービス (VAS) 事業』を展開。総合的なIPネットワークの設計・コンサルティング・機器販売・通信サービスの提供を可能とする。

分割日：2004年7月1日

### トーマツ「日本テクノロジーFast50」第14位受賞

過去3年間の売上高成長率419%を記録、昨年(第4位)に引き続き、2年連続の受賞。

IRIグループから、BBTowerも初受賞となる30位を受賞。(成長率170%)



### 慶應SFC内に設立のインキュベーション施設整備・事業推進に協力

慶應義塾大学と独立行政法人中小企業基盤整備機構が共同で計画している起業家育成のための施設整備(インキュベーション施設：平成17年竣工予定)と同事業の推進に関して協力体制を整えることで合意。

施設建設用地取得費用の一部等に充当する寄附金を拠出するほか、同施設に入居する起業家への積極的な投資を実施予定。同施設におけるIRIと同大学の共同研究も計画。



2004.10.7 慶應義塾大学での記者会見の様子

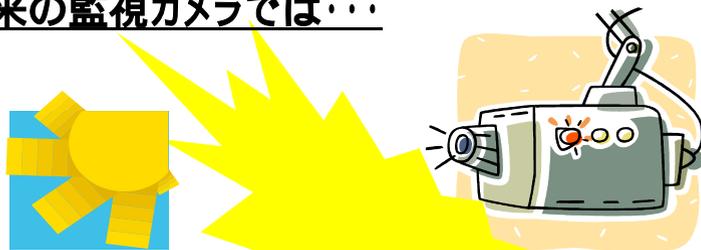
(写真提供：RBBTODAY)

2005年6月期第1Q実績	売上:1,235百万円	営業利益: 114百万円
2005年6月期予測	売上:6,500百万円	営業利益: 500百万円

**UBITEQ**  
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

### 製品トピック 組み込み用インテリジェントUSBカメラモジュール

従来の監視カメラでは…



逆光になると表情  
の録画不可能



その際に他人のキャッシュ  
カードで引き出し！！



ユビテック組み込み用監視カメラだと…



太陽光をバックに撮影しても表情が読み取れる！

防犯用カメラ、自動端末への組込用監視カメラなどへの利用。いかなる環境においてもクリアな画像を録画することが可能に！



**ATMなど業務用分野へ出荷開始！**

2005年6月期第1Q実績 売上: 987百万円 営業利益: 177百万円  
2005年6月期予想 売上: 4,400百万円 営業利益: 383百万円



受注拡大によるトラフィックの増加に伴い10G化を実施、稼働率も順調に推移

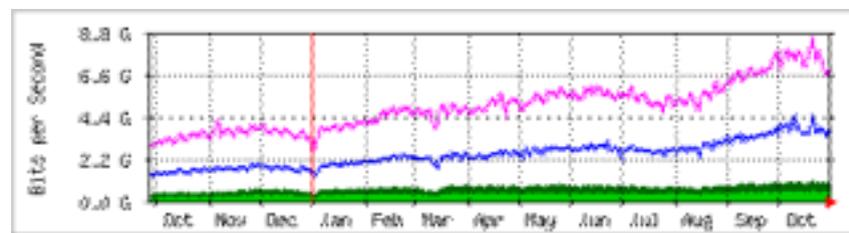
データセンター稼働率:

2003/6末60% (増床前)

2004/6末67% ( ) (増床後) 予約ラック等を含んだ稼働率から売り上げベースでの稼働率

2004/9末74% ( ) (増床後) へ算出方法変更

トラフィック量: 2004/10現在、7Gbps



デロイト・トゥシュ・トーマツ発表「日本テクノロジーFast50」初受賞

過去3年間の売上成長率が170%を記録し30位を受賞



付加価値型iDC事業の開始

2004/9 オープンインタフェース(株)と情報サービス事業で業務提携。ビジネス向けコンテンツにおいてデータセンター顧客への営業展開を図り、データセンター収益向上の相乗効果を目指す

2004/10 ネットシネマカーニバル開催

2004/10 音楽配信合弁会社を設立。アーティストハウス、アイ・シー・エフ、レッドライスメディアと共同出資、ブロードバンドメディアでの音楽の流通・販売促進の共同事業展開へ

2005/6期 エンターテインメント・ドキュメンタリー作品を中心に30本を企画制作予定

2005年6月期第1Q実績	売上: 994百万円	営業利益: 32百万円	(第1Q実績は BBXとIRI-Com の合算)
2005年6月期予想	売上: 8,200百万円	営業利益: 500百万円	

### BBXとIRI-Comの合併

2004年10月1日合併

IPネットワーク事業分野における当社グループの経営資源を集中。ブロードバンド通信サービスやIP電話サービス等の旧BBXが開発した商品を、旧IRI-ComがISP事業者等への営業力を活かして拡販していく。

合併後の状況

商号: 株式会社IRIコミュニケーションズ、本店所在地: 東京都新宿区西新宿一丁目26番2号、代表取締役社長: 持塚 朗、資本金: 693百万円(10月の増資後)

### インターネット事業者向けサービス

インターネット・エクスチェンジ (IX) サービス『BEX』の顧客数に大幅な変化はないが、引き続きコンテンツ事業者への提供が増えている。

フルトランジット保険サービスなど顧客への新しい価値提案をすすめ、契約帯域の増大、解約の防止につなげている。

個人向けBEX Phoneを導入するISP・CATV事業者も増加。

企業向けIP電話サービスにおいても、協業するスキームを検討中。

### 企業向けサービス

多店舗展開行っている企業に向け、IP電話をはじめとしたネットワークサービス提供を推進。CPCNet Hong Kong Limited(香港の通信会社)と提携し、日中間IP-VPNサービス開始予定。BBX事業部のネットワークと、IRI-Comの営業力を活かせるネットワークサービスの拡充を検討。

## デジタルTVと最先端PDAを活用した『次世代オンライン・コミュニケーション・システム』

デジタルTVと最先端PDAを活用した『次世代オンライン・コミュニケーション・システム』を日興コーディアル証券(株)様向けに提供。新規プロジェクトとして本スキームの「資産運用コンテンツ」以外の他業種横展開を推進。富裕層向けの新しいメディアの創生を図る。



## Advanced NI Service アプライアンス製品及びプロダクトを続々リリース

独自マーケティングにて時代を先駆ける最先端テクノロジーソリューションプロダクトを続々ラインアップ。新たな市場開拓のために技術シーズに基づいた製品発掘を展開。米国、韓国をはじめ、全世界の人脈、現地雑誌などから最新の技術動向、および製品情報を収集し、日本での販売可能性をある程度評価し、商品化を実施中。

**FORTIGATE**

**nTracker**

**eCounselor**

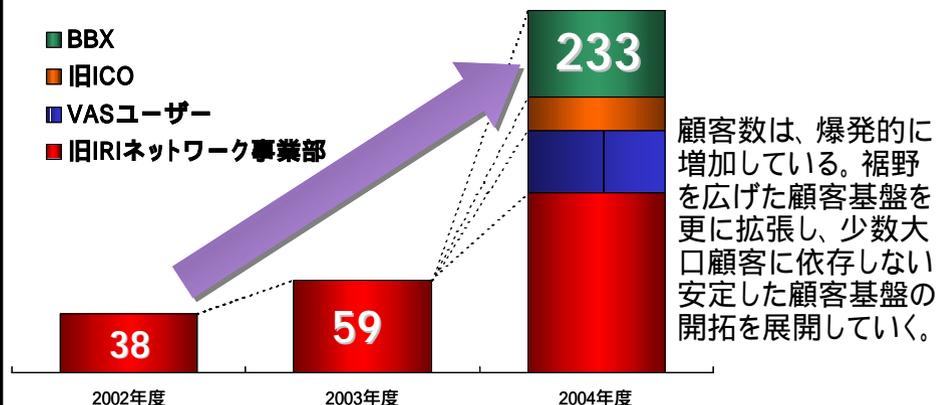


**PIOLINK**



## 営業状況 ~ 爆発的な顧客拡大

項目	2002年度	2003年度	2004年度
旧IRIネットワーク事業部	38	59	116
VASユーザー			40
旧ICO			21
旧BBX			56
<b>合計</b>	<b>38</b>	<b>59</b>	<b>233</b>
顧客増加数		21	174
顧客増加比率		155%	395%



2005年6月期第1Q実績 売上：134百万円 営業利益：10百万円  
2005年6月期予測 売上：660百万円 営業利益：50百万円



RBBTODAY、Responseのユーザー数増加、内容の充実



月間1500万PV/ユニークユーザー115万人  
光サービスに特化したサイト・イン・サイト「光 hikari」を開始。  
光サービスだけの情報を提供。  
ブロードバンドコンテンツに特化したサイト「RBB Navi」好調。

月間2,200万PV/ユニークユーザー180万人  
車内ケータイ利用アンケートを実施・分析。  
マスコミ等も注目するデータを提供。

### メディア事業が成長を牽引、他事業が順調に拡大

#### 増資

住友商事に引き続き、IRIへ第三者割当増資を実施。資本金2億9千万円(資本準備金1億円)

#### メディア事業

「RBB TODAY」「レスポンス」の広告売上、ニュース配信等での売上増加。7月に始まったRBB TODAY内、家電サイト「Digitalfreak」順調。

#### コンテンツサービス事業

携帯向けコンテンツ「e燃費」を大手石油会社・大手自動車メーカーへシステムOEMやデータ提供を行うほか、i-mode、auでの有料課金を開始予定。

#### プラットフォーム事業

RPGゲーム「ウィザードリィ」の権利を取得。さらなる大型作品の権利取得を計画中。

## 3 . IRIグループの経営戦略



**【Everything on IP! & IP on Everything !】**

20世紀の半導体技術のように、21世紀の産業創出のもととなる技術革新は  
IP (Internet Protocol) 技術である

あらゆる情報、文化、社会活動をIPネットワーク上に実現していく！

# 3-2. IRI 連結グループ構成と経営戦略

本社機能とグループ会社の役割を明確化した連邦的  
 独立経営によりグループ企業価値の増大を目指す

## グループ企業価値の最大化

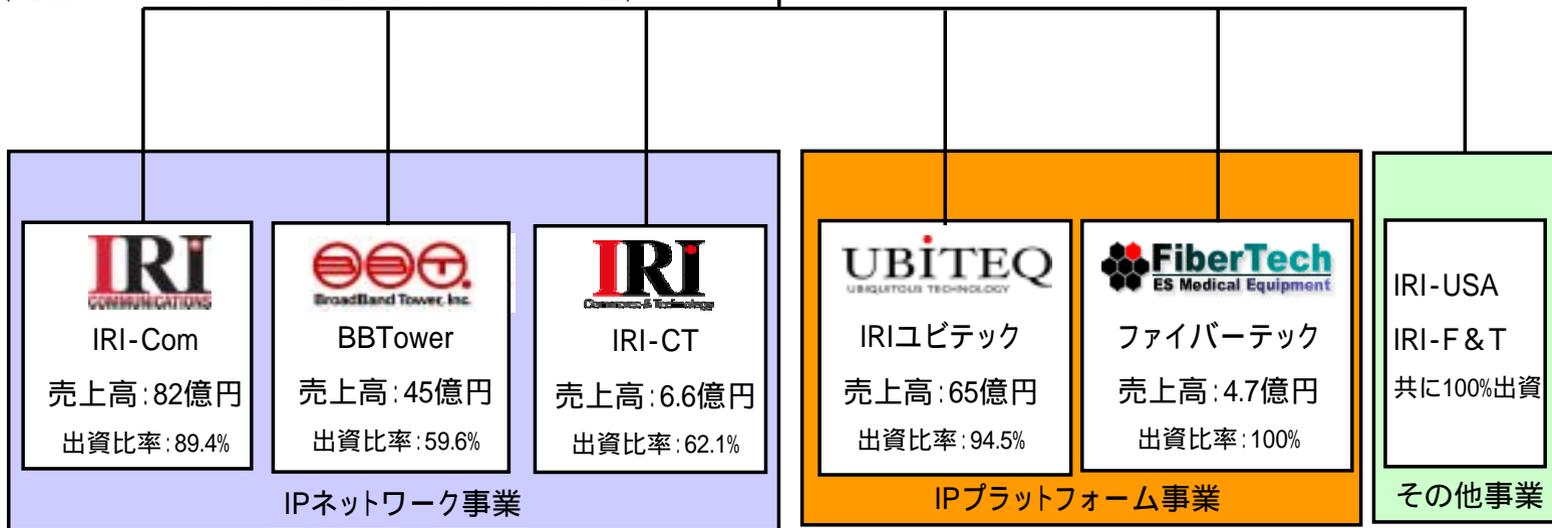


(連結) (単体)

売上高: 210億円 7.8億円

- 本社機能
- < 財務機能 >
- < グループ・ガバナンス機能 >
- < 横断的な成長戦略の策定機能 >
- < M&Aを積極活用した新事業の創出 >

(売上高: 05/6月期計画、出資比率: 10月1日現在) 連結子会社群



各グループ子会社は自己資金調達力を強化  
 事業環境に即した効果的経営と迅速な意志決定を推進し事業強化を図る

# 3-3. グループ事業展開と顧客ターゲット

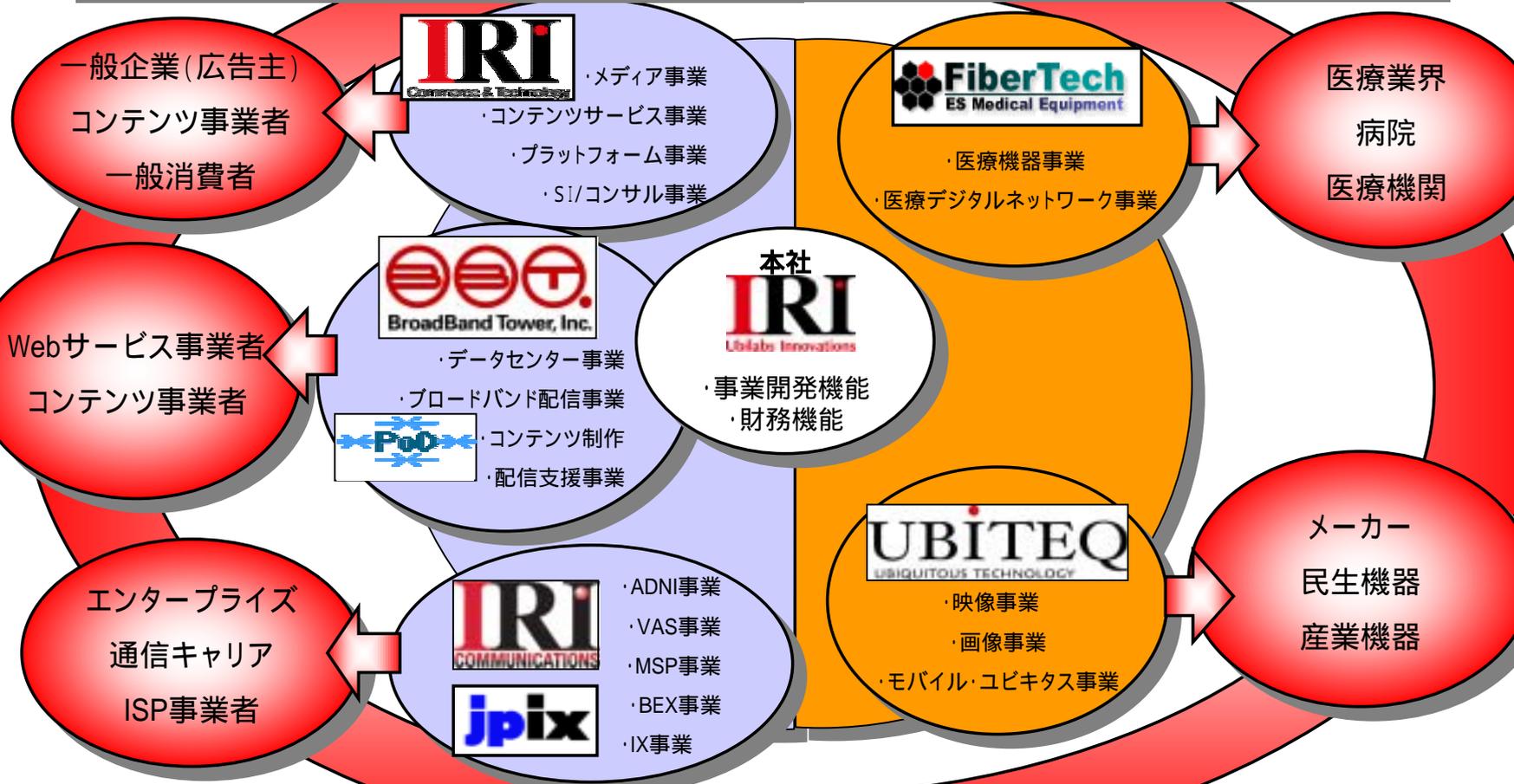
## IP技術を用いたサービス・インフラ基盤の提供

### IPネットワーク事業

ネットワーク・システム/コンテンツ・サービス基盤

### IPプラットフォーム事業

ハード基盤



顧客ターゲット

# 3-4.事業展開トピック:プロデュース・オン・デマンド(PoD)

## 【会社概要】

資本金:1億8,080万円(9月末現在のIRI出資比率30.9%:IRI連結の持分法適用子会社)

代表取締役:菊地 頼 (IRI取締役:サービス開発担当)

従業員:17名(9月末現在)

事業内容:ブロードバンド時代の映像コンテンツの制作プロデュース・配信事業

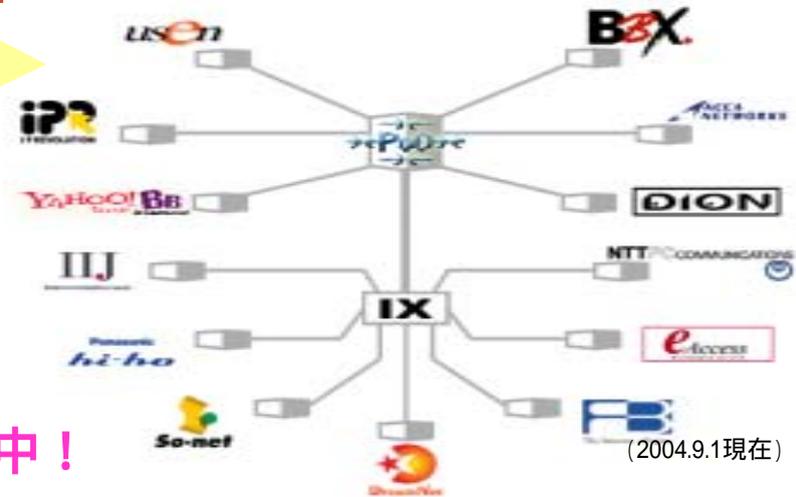


## 個人市場の開拓: 動画配信ビジネス・プラットフォーム「Digital Cascade」

### 大手ネットワーク事業者とのアライアンス

Digital Cascadeとは・・・  
大手ネットワーク事業者とのアライアンスによるブロードバンド時代を睨んだ高品質ストリーミング配信プラットフォーム。約15万人規模の同時配信を可能とし、国内最大規模と評判のパフォーマンスを有する。

**現在、月間約2,100万Streamingを配信中!**



(2004.9.1現在)

## 法人市場の開拓: 伊藤忠グループとの業務提携

伊藤忠エレクトロニクス(株)から「ブロードバンドゲートウェイ」事業( )を譲受。ブロードバンドコンテンツ配信事業を共同で推進・展開。

( )ブロードバンドネットワークを活用したビジネスモデル提案から最適な配信プラットフォーム環境を提供するワンストップブロードバンドサービス。

法人顧客の獲得を狙い伊藤忠商事からPoDへの資本参加を含め、広範な資本業務提携を強化していく予定。